学年 第6学年 担当教員名 勝本 一司 単位数・期間 1単位 後期 週当りの開講回数 1回 必修選択 学修 投業の目標と概要 細路高専目標 A:100% JABEE目標 a 機能との注意 (準備する用具・前提となるの対象できない)。ことにも「わからない」。ことにも、その両極に振り切れてしまうことのない 倫理を理解できる。 (おかることにも「わからない」。ことにも、その両極に振り切れてしまうことのない 倫理を理解できる。 定期試験:100% 定期試験:100% 定期試験:100% を格置・内田側であるいの倫理学への助走。(北側出版) 参考書・内田側であるいの倫理学、(角川文庫) 緑本一司「愉しく生きる技法」(北側出版) 参考書・内田側であるいの倫理学への助走。(北側出版) 参考書・内田側であるいの倫理学への助走。(北側出版) 要体に問いかけながら、議論ができればと思っています。 メッセージ 投業項目 投業項目ごとの達成目標 投業項目 投業項目ごとの達成目標	多単位3
野業の目標と概要	多単位3
授業の目標と概要	
腰修上の注意 (準備する用具・前提となる知識等) おりますので、予習が必要です。	
(準備する用具・前提となる知識等) 「わかる」ことにも「わからない」ことにも、その両機に振り切れてしまうことのない 倫理を理解できる。 定期試験 60点以上 合格 定期試験:100% 教科書: 藤本一司「倫理学への助走」(北樹出版) 参考書・内田樹「ためらいの倫理学」(角川文庫) 藤本一司「倫しく生きる技法」(北樹出版) 身体に問いかけながら、議論ができればと思っています。 メッセージ 授業項目 授業項目 授業項目 授業項目ごとの達成目標	
到達目標 倫理を理解できる。	
成績評価方法 定期試験:100% 教科書:藤本一司「倫理学への助走」(北樹出版) 参考書:内田樹「ためらいの倫理学」(角川文庫) 藤本一司「愉しく生きる技法」(北樹出版) 身体に問いかけながら、議論ができればと思っています。 メッセージ 授業項目 授業項目ごとの達成目標	
教科書:藤本一司『倫理学への助走』(北樹出版)	
テキスト・参考書 参考書:内田樹*ためらいの倫理学(角川文庫) 藤本一司*愉し(生きる技法(北樹出版) 身体に問いかけながら、議論ができればと思っています。 授業項目 授業項目ごとの達成目標	
授業内容 授業項目 授業項目ごとの達成目標	
授業項目 授業項目ごとの達成目標	
前期中間試験実施しない	
前期中間試験実施しない	
前期期末試験 実施しない 実施しない 無意識を可能性として捉えることができる。	
善悪について(3) 排除ではなく、受け容れることの意味を理解できる。 「規範としての倫理」の限界を理解できる。 「規範としての倫理」の限界を理解できる。	
後期中間試験実施しない	
倫理と未知性(4) 私の解体と再生(4) ・ 受動性が主体性を立ち上げるという隘路を理解できる。 ・ 受動性が主体性を立ち上げるという隘路を理解できる。 ・ 後期期末試験	